

SJN(小規模自治体ネットワーク) 人材育成PJ 活動報告書

派遣先：福島県磐梯町

派遣期間：令和7年1月20日～24日

3班

振興課	町田	勝一
建設課	長嶋	昭浩
福祉介護課	磯田	知子
健康子育て課	加藤	あずさ



ロボばんじ



ブコーさん

冬期の磐梯町への派遣にあたり

積雪への不安...

派遣期間の前週には、磐梯町で「雪害対策本部」が設置されるほど積雪の多い時期に派遣となりました。

磐梯町の職員さんから道の駅ばんだいのライブカメラがあることを教えていただき、積雪状況を事前に確認しました。

十分な防寒着、スノーブーツを準備し、磐梯町へ向かいました。移動は、四輪駆動の自動車で行ないました。

冬期は積雪の不安が大きかったです。幸い、派遣期間中は積雪はありませんでしたが、予測はできないため、冬期以外の派遣が望ましいと思います。

また冬期は閉館する施設等もあるため、磐梯町の魅力を知るためにも、暖かい時期に行くことをおすすめします。

(県道猪苗代塩川線) 磐梯町 道の駅ばんだい



〈ライブカメラの様子〉

磐梯町の概要

面積 59.7km²

横瀬町よりやや広い

昼間人口 130.6%

SIGMAがあり町外から
仕事に来る人が多い
朝夕は「シグマ渋滞」が起こる



高速のICがあり
車でのアクセスがしやすい

電車は1時間に
1~2本程度



史跡慧日寺跡



人口
約3200人



名水の町

美味しい地酒が
多数ある

磐梯町の公共施設



磐梯町役場



磐梯第二小学校



保育所



児童館



保健福祉センター



老人福祉センター

町の施設はレンガ調の
建物になっており、
統一感がありました。

視察報告【町田①】 派遣先：産業振興課

《商工観光係》

商工・観光担当 5 名（会計年度任用職員を含む）

《農林係》

農林業担当 6 名（会計年度任用職員を含む）

《地域おこし協力隊》

農業 3 名 鳥獣被害対策 2 名 観光 1 名 地域プロジェクトマネージャー 1 名

- ★職員 1 名が複数の業務を担当している。
- ★地域おこし協力隊員とイノシシによる鳥獣被害現場の確認や罠の設置などに同行した。
くくりわなは横瀬町で使用している罠と同じであったが、凍結に注意して設置をしていた。
- ★農業分野の地域おこし協力隊員が活動しており、集落営農組織の運営支援や担い手不足解決に向けた支援などに取組んでいた。農地の多い磐梯町ならではの、地域おこし協力隊の活動事業と感じた。

視察報告【町田②】

《課長会議》

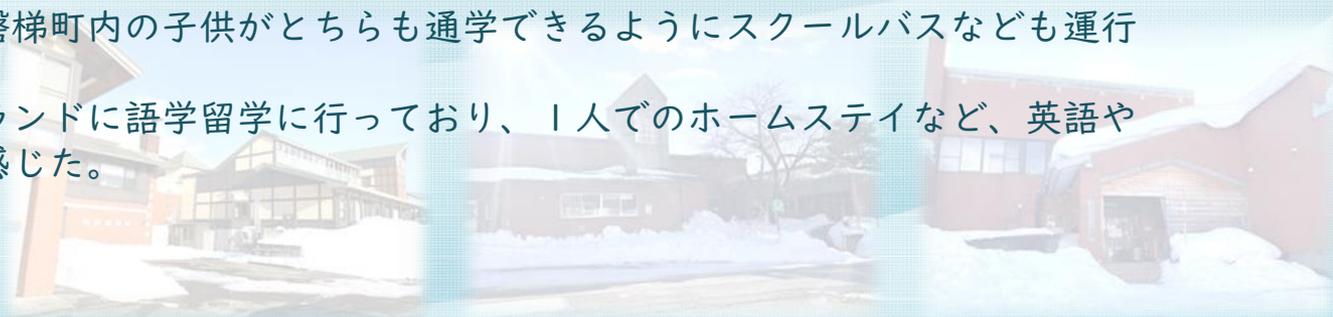
佐藤町長が座長となり会議を進行

- ★全課長がPC・タブレット端末を使用し、事前に報告内容を入力しておき説明を行っていた。
- 横瀬町でもスプレッドシートなどを活用し、報告事項を文章化しておけば、課員への伝達が効率的になると思った。

《町内視察》

高梨教育長に町内施設(教育施設)の案内及び説明をいただいた。

- ★施設の色は統一（外壁はレンガ模様・屋根は黄緑色）
- ★小学校は2校 第一小学校約120名 第二小学校約50名
第二小学校の児童数が減少してきたため、学校統合の話もあったが、それぞれ違う学校の特色を重要視し統合は行わなかった。磐梯町内の子供がとちらも通学できるようにスクールバスなども運行していた。
- ★磐梯町の中学生はニュージーランドに語学留学に行っており、一人でのホームステイなど、英語や文化等勉強する良い事業だと感じた。



視察報告【町田③】

《農家視察》

産業振興課佐藤係長に「農家のすずきさんち」を案内していただいた。

- ★農業用ハウスでリーフレタスの水耕栽培を行っている。夏にはトマト・キュウリも栽培。水耕栽培の理由は、肥培管理がしやすく、病気になりにくく、連作障害もないとのことでした。



《地域通貨》

産業振興課遠藤主査に「ばんだいコイン」の説明をしていただいた。

- ★ばんだいコインはチャージするとチャージ金額の10%のポイントがもらえる。
- ★ユーザー数約2,500人、チャージ額約1億2,000万円、ポイント付与額約1,400万円、利用額約1億3,300円(令和5年度実績)
- 主な利用先：スーパーマーケット・ガソリンスタンド・コンビニ
- ★磐梯町だけで通貨を発行し、運用しているところがよいと思った。



磐梯町の便利でお得な
地域デジタル通貨



**ばんだい
コイン**

視察報告【長嶋①】 派遣先：建設課

○冬期における交通の確保について

今年は3年ぶりの大雪で役場周辺では1m、標高の高い豪雪地域では2m近い積雪に。

★除雪作業員

作業員は総勢21名で、毎年12月から3月まで会計年度任用職員として雇用されており、皆さん普段はブランド高原野菜である法正尻(ほうしょうじり)ほうれん草などを栽培する農家さん。除雪作業のほか、週休2日制で宿直もあり、毎日2人体制で夜間のパトロールや塩カル散布を行っている。

★除雪車両

ホイールローダー13台、ロータリー車2台ほか、町で所有している。

★除雪範囲

町道・農道・歩道に加え、県道および隣接する会津若松市、猪苗代町の一部も委託を受けて除雪を行っている。

★除雪車による除雪作業

必ず2人1組で行い、1人はオペレーター、1人は助手席で後方確認等周囲の安全を確認しながらオペに伝えつつ、無線で他の除雪車両と連携を図りながら除雪を行う。今シーズンも各地で除雪車に絡む事故が発生しており、非常に気の抜けない作業である。

私が同乗させていただいた、
ホイールローダー18トン



除雪車の車内から

視察報告【長嶋②】

積雪寒冷地である磐梯町の道路設計について、多くのことを学ぶことができた。

○道路事業について

工事については積雪があることや舗装の温度管理ができないことなどから、基本的には11月末までの工期とし、冬期の施工は行わない。今回は町道磐梯大谷線改良工事の工期が3月末であったため、工事現場を見学することができた。



【町道磐梯大谷線改良工事】

- ・工事延長3,930m
 - 第1工区 1,300m 町施工
 - 第2工区 2,000m 県代行事業 (JR磐越西線 ボックスによるアンダーパス)
 - 第3工区 630m 町施工
- ・幅員 車道2.75m 堆雪(たいせつ)幅1.5m (全幅8.5m) そのほか路肩0.5m
- ・舗装構成 表層5cm 上層路盤15cm 下層路盤20cmプラス4cmで24cm (※凍結深44cm 凍上抑制層は下層路盤RC40に含めるため。)

《道路設計における横瀬町との違い》

- ・側溝は2mが標準。甲蓋は全て手掛けのものを使用。(埼玉県では4mが標準。甲蓋は普通型、網付型、手掛けを組み合わせて配列する。)
- ・区画線は溶融式ではなく、ペイント式。(溶融式では除雪の際に削り取られてしまうため。)
- ・舗装については積雪寒冷地域使用の耐摩耗性に優れた密粒度アスファルトF(フィラー)を使用。
- ・排水性、透水性の舗装は行わない。(空隙があるため地熱が伝達しにくく雪が溶けづらかったり、凍結防止剤が流れ出てしまうことなどが指摘されている。)
- ・舗装構成において、凍上抑制層を考慮。(路盤の凍結を抑制し、舗装の劣化を防止するため。)
- ・幅員構成において、堆雪(たいせつ)幅の確保。(堆雪とは除雪、排雪した雪を一時的に集めておく場所。) etc.

視察報告【長嶋③】

○水道事業について

磐梯町の水は日本名水百選にも選ばれており、とてもおいしい水だった。

《おいしさのひみつ》

水源は湧水と地下水を利用しており、当町のような砂によるろ過池は一切なく、原水に塩素を注入して滅菌処理をするだけ、というものであった。

これは、磐梯山などの火山地層と豊かな森で天然ろ過されたことにより、原水が非常にきれいだからできるものであると感じた。



老朽化した施設の屋根の雪下ろし状況



水道施設の巡回に同行し、職員の苦勞を身をもって体験した。

《水道施設》

- ・水道施設は、水源15カ所、配水池12カ所、他にもポンプ施設など各地に点在していた。
- ・巡回については、業者委託により毎週1回、月1回は職員が行っている。
- ・施設の中には老朽化した建物があり、屋根の雪下ろしをしないと倒壊する恐れがあるため、職員が雪下ろしを行っている。
- ・今後の課題は、施設の老朽化に伴い更新する際の代替地の確保など問題は山積である。

視察報告【磯田①】

派遣先：町民課保健福祉係

《生活環境係》

戸籍・年金担当2名、廃棄物・ゴミ担当1名、国保担当1名、後期担当1名、管理栄養士1

《保健福祉係》

児童福祉担当1名、障害者福祉担当1名（献血／自殺対策）、
高齢者福祉・地域福祉担当1名、
介護保険担当1名、認定調査関係担当1名、
准看護師1名（介護予防・保健介護一体的）

- ★職員1名が複数の業務を担当している。
- ★磐梯町町民課では、福祉3分野（児童・障がい・高齢者）・地域福祉・介護・保健の事務を担当しているため、各種法定計画（1計画1職員）の策定も行っている。
- ★個々の対応ケースが少ないとは言え、横瀬町での3課分の業務を1課（しかも各分野1職員）で担っていることに…。

介護保険関係の事務全般（保険料・給付・事業所指定その他諸々）を職員1人でこなしていることに、驚きでした

視察報告【磯田②】

《老人福祉センター》

- ★老人福祉センター内には、磐梯町社会福祉協議会と磐梯町シルバー人材センター（職員2名）が配置されている。
- ★磐梯町社会福祉協議会が指定管理の委託を受け、老人福祉センターを管理・運営。

●今回はZUMBAの先生週替わりで4名の講師が指導することによって、趣が変わって楽しめると感じた



保健福祉センターと隣接しているため、何かと連携しやすい環境が整っている



《磐梯町社会福祉協議会》

- ★職員体制：事務局長1名・事務局次長1名・事務1名
パート2名（うち、生活支援コーディネーター1名）
- ★各種事業（町からの委託事業）
 - 介護予防事業：毎週火曜日（月1回）
午前：しゃんしゃん生き生き体操教室 午後：ミニデイサービス
 - 外出支援サービス（運転業務専任の方を雇用）
町外の医療機関等に行く際に利用されることが多い。
介護予防事業の送迎も行っている。
 - 民生委員・児童委員協議会の事務局
配食・会食サービス：どちらか毎月1回実施。
 - 除雪作業
町民から要請があった際に、社協職員が対応。

自宅玄関から道路までの歩く部分のみとは言え、職員の対応力に感服です

視察報告【磯田③】

《磐梯町保健医療センター（公益社団法人地域医療振興協会）》

★併設機関：有床診療所、老健、デイケア、訪問看護、通所介護、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

《磐梯町地域包括支援センター（委託型）》

★職員体制：3職種〈社会福祉士（兼管理者）、主任ケアマネ、看護師（保健師に準ずる者）〉

★各種事業

- 在宅介護医療連携推進事業
- 認知症地域支援推進員（兼務）の設置
- 認知症初期集中支援チーム（オレンジネット）の運営
- 介護予防事業の実施（町内1地区：月1回 ほか出前講座を実施）
- 地域ケア会議の実施（月1回）
- 任意事業の実施（家族介護教室など）

医療センターを筆頭に各種介護保険事業所が併設されていることで、医療・介護分野において相談・協力・連携のしやすい環境が整備されている



視察報告【磯田④】

《ハーモニー磐梯（社会福祉法人心愛会）》

★事業形態：小規模多機能型居宅介護、認知症共同生活介護

○社会福祉法人心愛会は、介護保険事業所のほか、障がい者支援施設等も運営。

○小規模多機能型居宅介護：9室（泊まり）

利用者の心身状態や生活状況に応じて、通所・訪問も組み合わせて随時対応。

○認知症対応型居宅介護（グループホーム）：9床（1ユニット）

★施設の中央に共有スペースとスタッフルーム、左右にそれぞれの施設の居室を配置。

★2つの事業所を併設していることで、日中の活動は個々ではなく、利用者みなさんと一緒に行っているとのこと。



《まとめ》

★横瀬町よりも小規模な自治体ということもあり、地域の方々も関係機関も、それぞれが顔の見える関係・横のつながりが強い町という印象を受けました。

★町内に医療センター・介護老人保健施設・小規模多機能型居宅介護等々の各種関係機関が整備されており、専門職も含めて、介護・医療のほか、保健・福祉関連の連携もスムーズにできる環境が整っていると感じました。

★もともと地域内での助け合いができてきている環境でもあり、介護保険事業所の数は多くないものの、コンパクトでまとまりやすいことが強みであると思いました。



視察報告【加藤①】 派遣先:保健福祉センター

- ・保健師 3 名、助産師 2 名、栄養士 1 名、事務 1 名が在籍。
- ・保健師 1 名は副所長で、事務と保健師の業務を兼務。
- ・業務担当は、母子保健 2 名、成人担当 1 名。
ケース対応は地区担当制を取っている。
- ・ネウボラセンター、子育て世代包括支援センターになっている。



- ・磐梯町役場から、車で 2 分程度の距離にある。
副所長は毎日役場へ行き、連絡調整等を行なっている。
- ・保健福祉センター、老人福祉センター、児童館、保育所が隣接している。
徒歩ですぐに行ける距離にあり、連携が取りやすい。

- ・平屋の建物で、ホールの奥にデイケア室（和室）、診察室が隣接している。ホール内にミニキッチンがある。
- ・ホールは床暖房になっており、子どもが裸足で遊んだり、大人が床に座って体操をする時等も寒さを感じずに活動ができる。



和気あいあいと
お仕事されて
いました



視察報告【加藤②】

母子保健

- ・年間出生数10人前後。ここ数年で激減している。
- ・ネウボラを掲げ、保育所から中学校まで切れ目ない支援を実施している。



〈キッズふれあい広場〉

- ・毎週金曜日の午前中に実施。身長・体重測定、離乳食相談に加え、週替りでリズム遊びや制作等を行なっている。
- ・月1回は、1歳児健康相談・離乳食教室を同時実施。1歳になる児には通知し、計測と保健指導を実施。親子での記念撮影をして、カードをプレゼントしている。



来所順に、保健師・助産師・栄養士が面談し、身長・体重測定を実施。



今回は「自由あそび」。大きなジャンボリンが設置され、親子で楽しんでいました。



離乳食相談の試食。調理は食改さんが実施。参加者が一緒に調理することもある。

毎週火曜日は自由開放日で、ママさんたちが気軽に遊びに来ているそうです。



視察報告【加藤③】

成人保健

〈先駆的民間プログラム活用事業〉

- ・福島県が実施している事業で、RIZAP、タニタ、カゴメ等の民間企業のプログラムを活用して、健康増進事業を実施している。
- ・磐梯町は花王の「ホコタッチ」を活用し、歩行の質を上げる取組を実施。
- ・参加者は3か月間、歩数計（加速度も測定）を携帯する。月1回、保健福祉センターにある機器に歩数計をタッチすることで、歩行分析結果が得られる。
- ・初回と最終回には、歩行測定を実施し、効果を検証する。

内容を覚えるので
自宅でも
取組みやすい！



👉講師の先生は、アスリートの育成に関わっているプロフェッショナル。
「先生のファン！」と言う町民もいらっしゃいました。

歩行の質を上げる
取組を横瀬町でも
実施したい！



👉歩行測定器
機器の上を歩くと、歩行バランス
年齢等が分かる。

〈関節痛予防教室〉

- ・健康運動指導士による運動教室。月1回開催。セルフマッサージ、関節体操、筋トレ、ストレッチ等を実施。
- ・毎回、同じプログラムを実施している。4～6月の教室でプログラム内容を覚える。7月以降は、参加者が自分のペースで運動に取り組む。
- ・教室に来ると、ばんだいコイン100ポイントを付与。

視察報告【加藤④】

大人が赤染する機会は
少ないので、皆さん
磨き残しに驚いていました。



〈歯周病勉強会〉

- ・ 歯科衛生士による、歯周病予防のための勉強を開催。60～80歳代の方が10名参加（うち2名が男性）。
- ・ 歯周病の病態、正しい歯磨きの方法、歯ブラシの選び方等の講話を実施。
- ・ 歯垢染色錠剤を使って、歯垢の赤染を実施。

※磐梯町では、20歳以上の10歳毎の節目に、無料歯科健診を実施。

まとめ

- ・ 磐梯町では、未就園児を連れて行ける施設がないため（「児童館」は学童機能のみ）、「火・金曜日は保健福祉センターに来ることが多い」と、町民のお母さんが話していました。職員みんなが母子と顔見知りで、母子事業もアットホームな雰囲気でした。小さな町だからこそ、つながりの強さを感じました。
- ・ 「キッズふれあい広場」を毎週開催しており、回数の多さに驚きましたが、身長・体重測定や、離乳食相談を同時開催する等、上手に事業を組み合わせていました。横瀬町でも出生人数が少なくなる中で事業展開していく上で、参考にできる部分が多くありました。
- ・ 「先駆的民間プログラム活用事業」として、磐梯町では花王の「ホコタッチ」を活用して、歩行の質を上げる取組みを実施していました。横瀬町でも、ウォーキングをしている方は多くいますが、質の良い歩行ができているかは検証が不十分と感じています。「日本一歩きたくなる町」を目指し、歩行の質にも目を向けたいと考えます。
- ・ ご多用中にも関わらず、事業見学の時間や、情報交換の時間を作っていただいた、保健福祉センターの皆様にご感謝申し上げます。このご縁を大切に、今後も情報共有等していければ幸いです。ありがとうございました。

まとめ① テレワークを実施して



- テレワーク用パソコン、モバイルルーターを持参した。
- 「利用者側操作P Cアプリ」を用いて、横瀬町にある自席のパソコンにアクセスする形でテレワークを実施した。
- 業務前に自席のパソコンの電源を入れてもらうこと、業務後にパソコンをしまうことを、課の職員に事前に依頼をした。
※電源のO F Fは、リモートで操作可能。

〈良かった点〉

- ・サーバー内のデータの編集、財務会計へのアクセスが可能だった。

〈不便だった点〉

- ・パソコンの画面がやや不鮮明だったり、キーボードの感覚が普段と異なり入力しづらかった。
- ・パソコン動作がやや遅かった。
- ・席を離れる際はアクセスを切断するため、再開する時に再度接続の必要があり、都度時間を要した。

まとめ② 派遣研修を終えて

今回、磐梯町での研修を行ない、大変勉強になることが多くありました。

初日に行政経営系の、長係長よりデジタル変革を中心とした取組について説明を受けました。説明時も、1人1台タブレットが用意されていました。「ばんだいコイン」や「コドモン(乳幼児の保育から義務教育終了までの保護者向けアプリ)等、町民に役立つDXを活用されていました。また、今後は「町民の幸せプロジェクト」に取り組まれるようで、27以上のプロジェクトチームを発足させるそうです。小さい町ながら大きなバイタリティを持ち合わせていることに驚きました。

2日目以降は、各々の担当課にて業務への参加や、情報交換をさせていただきました。他の町を知ることで、横瀬町の課題が見えたり、参考にできる部分に気づくことができました。磐梯町での経験を、今後の自分たちの業務に生かしていきたいと思えます。

積雪の多い磐梯町で、この時期に研修を受入れることは容易ではなかったと思えます。

お忙しい中迎え入れてくださった磐梯町職員の皆様、お話を聞かせていただいた町民や関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

SJN(磐梯町)3班 一同



おまけ 磐梯町周辺あれこれ



LAC会津磐梯
七ツ森という地域で
役場周辺より雪が深い！



赤白ポール
積雪で道路の先が
見えないので
ポールを目印に運転します



鶴ヶ城と
飯盛山からの景色
矢印の先が鶴ヶ城



喜多方ラーメン
三種



美味！



磐梯町職員さんに
オススメのお店を
教えてもらいました

